

テレビ東京グループ ステークホルダー通信

ナナノワ

今日とあしたと、
笑顔をつなぐ、
ナナノワ

2016 Winter

第7期中間報告書
2016.4.1 >>> 2016.9.30

“伝える”ことを通じて、 多様で豊かな社会づくりに 貢献したい。

テレビ東京グループは、「経済報道・健全なエンターテインメント・アニメ」などの番組、コンテンツを中心に、「頑張る人や企業」「人の絆、家族の絆」「地域そのものの魅力」「多様な文化の“芽”を育てる」といったことを大切にしながら個性と独自性を培ってまいりました。これからも“テレ東DNA”を力の源泉に番組・コンテンツづくりにまい進し、豊かな社会の実現と文化の創造につなげてまいります。

CONTENTS

トップメッセージ	1
特集「らしさ」でつくるドラマの魅力	3
テレビ東京グループ 事業報告	9
2016年9月期 業績報告	13

気持ち新たに、新本社から次世代

皆様におかれましては、平素よりテレビ東京グループに対して格別のご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

2016年11月7日、テレビ東京とBSジャパンは新たに本社を構えた六本木から放送を開始いたしました。新本社は地上波とBS波の統合マスターをはじめ、4Kなどの最新設備のほか、高度な防災機能や環境配慮など、未来を見据えた設備を備えております。

一方で番組・コンテンツ制作の最前線にはクリエイティブな発想を湧き立たせ、それを番組として形づくる環境が必要です。新本社はコミュニケーションの活性化による番組・コンテンツ制作力の向上を狙って、グループ全体で拠点の再編に取り組んでおります。

テレビ東京は「六本木3丁目移転プロジェクト ドラマスペシャル」として3週連続で大型スペシャルドラマをお送りいたしました。いずれの作品も、原作のイメージを大切にする「テレ東ドラマ」の真骨頂に新たなタッチを加え、新本社移転にふさわしい、新しい「テレ東ドラマ」に仕上げました。

番組コンテンツ力の向上

私たちはコンテンツ集団であり、その成長力の源はコンテンツ制作力にほかなりません。私たちの番組づくりの本質は“新しい可能性を追求し、チャレンジを続ける”ことです。視聴者の皆様に支持される「テレ東らしさ」を求め、真摯にコンテンツ制作に取り組む姿勢を大切にしております。

テレビ東京は4月に大きな番組改編を行ったものの、まだ視聴率として充分なご評価をいただくまでには至っておりません。個々の番組は高い評価、話題性を持っているので、新

を担う番組をお届けしてまいります。

本社という新たな番組づくりの場を得て、次世代を担う番組に育ててまいります。

BSジャパンは、制作費や宣伝費の効果的な投入による番組力向上が奏功し、過去最高の売り上げを達成しております。

ネット関連事業を中心とする通信分野の開拓

動画配信市場では大手プラットフォームによるコンテンツの争奪戦が激しさを増す中、コンテンツ供給者である私たちはこのビジネスチャンスを積極的に活かしてまいります。テレビ東京が4月から取り組んでいる放送前ドラマの動画プラットフォームへの配信は、ライツビジネスの拡大に加えてネットユーザーをテレビ視聴へ誘導する効果もありました。

アジア市場を重視した国際戦略

国内市場が成熟化する中、番組や事業の国際化は不可欠であり、アニメ番組を中心にインターネット配信やライセンスビジネスを海外企業と協力して展開しております。中国では『NARUTO』のスマートフォン向けゲームアプリがロングセラーコンテンツになるなど、人気アニメの『NARUTO』『BLEACH』がけん引役になって過去最高の海外ライセンス収入を達成しております。

新本社への移転も無事完了し、今後も株主をはじめとしたステークホルダー、視聴者の皆様の信頼と期待に応えてまいりますので、引き続き変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株式会社テレビ東京ホールディングス
株式会社テレビ東京
代表取締役社長

高橋 雄一

Yuichi Takahashi

「らしさ」でつくる**ドラマ**の魅力

今、テレビ東京・BS日本はドラマがおもしろいんです。
これぞドラマといった正統派の作品から、大胆な発想で「らしさ」あふれる驚きの作品まで、
“テレ東”ドラマを、4つのキーワードからご紹介します。

KEYWORD-3

スペシャル ドラマ

ミステリー界の巨匠作品を次々と映像化。他局に先がけて全編ハイビジョン制作に挑むなど、正統派な作品づくりの中にも、チャレンジ精神が光ります。

KEYWORD-1

深夜

自由すぎておもしろい！
挑戦的で挑発的な、可能性の宝庫です。

『ドラマ24』は唯一の連続ドラマ枠だった時期も長く、テレビ東京のドラマ史を語る上で、欠かせない“名物枠”。人気絶頂のAKB48主演『マジすか学園1～3』や、鬼才・福田雄一による『勇者ヨシヒコと魔王の城』（シリーズ化され、第3弾『勇者ヨシヒコと導かれし七人』が放送中。詳しくは10ページ）など常に話題作を提供します。

『孤独のグルメ』 Season1～5（'12～'15）

輸入雑貨商を営む男が、一人で食事をする姿を淡々と描く、まさにテレ東らしさがあふれる異色作。「夜食テロ」なる言葉も生まれた大人気シリーズは、松重豊主演で、現在Season5まで放送された。

©テレビ東京



キーワード テレビ東京・BSジャ

KEYWORD-2

ファミリー

シニア世代から孫世代まで、3世代でテレビを囲んで見る。古き良きファミリードラマも、テレビ東京の得意な分野です。

金曜8時のドラマ『三匹のおっさん～正義の味方、見参!!～』は、シルバーエイジを主人公にした、ちょっとめずらしい連続ドラマ。金曜の夜8時という、ファミリーが家で過ごす時間とぴったりハマリ、パート2がつくられる人気作となりました。また『釣りバカ日誌 新入社員 浜崎伝助』は、おなじみの国民的映画をまさかの連続ドラマ化。さらに映画版ハマちゃんの西田敏行さんをドラマ版のスーさんに配役するなど、サプライズてんこもりとなりました。

『三匹のおっさん』（'14, '15）

還暦を迎えた3人の元悪ガキが私設自警団を結成し、世の中の“悪”を成敗する勧善懲悪ストーリー。

©テレビ東京・ホリプロ



MIDNIGHT



FAMILY

テレビ東京 六本木3丁目移転プロジェクト ドラマスペシャル

11月7日の新本社移転を記念して、3本のミステリードラマが今秋、3週連続放送されました。クオリティー、キャストともにこれまでにないミステリー大型企画となりました。



©テレビ東京・テレパック

『模倣犯』(16)

宮部みゆき原作。主演の中谷美紀は、テレビ東京初主演。前後編に分けて2夜連続放送された。



©テレビ東京

『望郷』(16)

湊かなえの同題短編集から珠玉の3編をオムニバスドラマ化。広末涼子、伊藤淳史、濱田岳が主演。



©テレビ東京

『巨悪は眠らせない 特捜検事の逆襲』(16)

原作は、真山仁「売国」。玉木宏、仲代達矢が主演した重量感のある作品。

で語る! パンのドラマ

KEYWORD-4

時代劇

最近では少なくなってしまう時代劇も、テレビ東京・BSジャパンでは、ご視聴いただけます。

「東京12チャンネルの社名にちなんで、1月2日に12時間のドラマを放送する」という、他に類を見ない大胆な企画で注目を集めた「新春ワイド時代劇」をはじめ、時代劇は古くから、今にいたるまでテレビ東京・BSジャパンの看板番組として、愛され続けています。



金曜8時のドラマ『石川五右衛門』

ただいまテレビ東京にて絶賛放送中!! → 番組の詳細は、9ページ



火曜スペシャル『人形佐七捕物帳』

ただいまBSジャパンにて絶賛放送中!! → 番組の詳細は、12ページ



SPECIAL



SAMURAI



ドラマ制作部にききました! テレビ東京ドラマの魅力

テレビ東京のドラマ制作部は少数精鋭。

日夜ドラマづくりに挑む部員たちにアンケートを行い、魅力や、らしい体験談を伺いました。

誰もやらないことを
やろうと思ってる

Q 影響を受けたテレビ東京の ドラマをおしえてください

- 浅田次郎ドラマスペシャル『角筈にて』(99年)『天国までの百マイル』(01年)『ラブ・レター』(03年)、山田太一ドラマスペシャル『小さな駅で降りる』(00年)…良質な大人のドラマであり、数々の賞を受賞し、テレビ東京のドラマのクオリティーの高さを示した作品であるため。
- 山田太一ドラマスペシャル『本当と嘘とテキーラ』(08年)…山田さんの手書き原稿はいまだに大切に保管しています。とにかく台詞がおもしろく、また松原信吾監督の演出もとても勉強になった。現場でひたすら駆けずり回ったのは良い思い出。
- 『孤独のグルメ』(12年)…おじさんがご飯を食べているだけでドラマになるんだ!という衝撃を受けました。その後のドラマづくりに影響を受けました。
- 『壬生義士伝～新選組でいちばん強かった男～』(02年)…10時間、緩まずに見せ切っていた。泣けた。

Q ドラマをつくる上での こだわりをおしえてください

- しっかりした脚本にしてから、監督や現場スタッフ、俳優に託すこと。
- 「一視聴者として自分が見たくなる作品を制作する」ことを心がけています。
- 常に視聴者に喜んでいただける「サプライズ」要素を盛り込むこと。

Q ズバリ、テレビ東京のドラマの魅力とは？

- 懐かしい感じでしょうか。「子供のころ、こういうドラマ見た」と、うちの母が言っていました（笑）。また、背伸びせずに汗をかいてやっているところかと。
- はじめに役者ありきで企画を決める無難なドラマになるようなつくり方が少なく、企画中心でキャスティングが進むので、独自性が強い作品が生まれやすいこと。
- 「エッジの効いた」埋没しないグリラ的な作品。

「泥臭さ」が魅力
やっぱり

Q ドラマ制作における、最大の失敗は？

- エキストラさんの人数が足りず、人数合わせで遠目にいる通行人として自ら出演したところカット割りが変わり、うっかり主演と一緒に長々と出演してしまった。
- 連続ドラマの顔合わせのキャスト挨拶の際に、なんとトメ※とトメ前※にあたる大御所俳優のお二人を紹介し忘れてしまった。会場全体が一瞬凍りつきました。
- クランクイン直前に、息抜きで行った草野球で骨折。そして16日間の入院。

※トメ…キャストロールの最後に表示される大物俳優

※トメ前…キャストロールの最後から2番目に表示される、トメに準ずる大物俳優

Q 今後の野望をおしえてください

- 他局で主役をやったことがない方を主役として抜擢したい。俳優ではない方を起用してのドラマづくり。
- スペシャルドラマまたは連続ドラマで、視聴率20%を超える！
- 世界を相手に「外国と合作ドラマ」や「新しいホームドラマ」、「時代劇」をつくりたい。
- 現在は少ない女性プロデューサーを増やし、女性だけのスタッフで“危険”なドラマをつくってみたい。
- ダメ人間ばかりが集まったホームドラマをつくりたい。長年にわたって成長したりしなかったりする家族を描き、テレビ東京の看板シリーズにしたい。

QUESTIONS





テレビ東京らしい「エッジが効いた」企画で勝負

テレビ東京のドラマの魅力は、いかにして生みだされてきたのでしょうか。これまでのドラマ制作の歩みや、今後の展望を岡部ドラマ制作部長に伺いました。

テレビ東京のドラマの特長を教えてください。

テレビ東京はドラマ制作において後発の存在であり、番組を放送する系列局も決して多くありません。そこで他局の既存のドラマから良さを学びつつも、チャレンジ精神を持ち、原作の選定やキャスティングなどエッジが効いた企画を意識してドラマを制作しています。もちろん、より多くの視聴者に見ていただけるようマーケティングを行うなど力を尽くしていますが、必ずしもその結果だけにとらわれず、「**制作者自身が見たいと思う作品をつくる**」ことが**基本の姿勢**。最近ではシルバーエイジを主人公にした『三匹のおっさん～正義の味方、見参!!～』や、大ヒット映画をリメイクした『釣りバカ日誌 新入社員 浜崎伝助』など、これまでのゴールデンタイムのドラマの常識

を覆すような作品に挑戦し続けてきました。

BSジャパンのドラマ制作も同様で、視聴者層が限られていて地上波では放送が難しくなっている時代劇を連続ドラマで復活させるなど、常にチャレンジングな取り組みを行っていると思います。

最近では連続ドラマ枠に注目が集まっています。

『ドラマ24』以前にも連続ドラマ枠がありました。軌道に乗せることができず、やむなく終了となりました。だからこそ「連続ドラマ枠を定着させたい」という思いが強く、2005年に『ドラマ24』を立ち上げました。とはいえ、当時は連続ドラマを制作するノウハウはほとんどなく、キャスティングや原作の獲得などすべてが手探り状態。第一弾の『嬢王』は深夜帯としては大ヒットとな



る平均視聴率5.8%を記録しましたが、その後はヒット作品がなかなか生まれず苦しい時期が続きました。放送開始が迫る中、手配ミスにより一から企画を考え直さなければならなくなったこともあります。

現在も試行錯誤を続けていますが、“とんがったドラマ”という軸をぶらさずにつくり続けた結果、『ドラマ24』に対する認知度は確実に高まっています。スタート時は「テレビ東京でドラマを放送しているの?」といった反応でしたが、今では視聴者から「**テレビ東京のドラマは侮れない**」と言っただけのこと。また、制作会社や監督、原作者、役者の方々にも認知が広まったことで、「ぜひ『ドラマ24』でやりたい」「参加したい」と自ら手を挙げていただけでも増えました。

2013年にはもう一つの連続ドラマ枠となる『金曜8時のドラマ』がスタートし、ファミリー層をターゲットにした作品で好評を博しています。今後は『ドラマ24』で平均視聴率5%、『金曜8時のドラマ』で平均視聴率10%を目指し、各作品をつくり込んでいきたいと思っています。

ドラマ制作における課題は何ですか。

今はまだ「テレビ東京のドラマ」を確立している段階であり、出演いただいたことがない役者さんがたくさんいます。より魅力的なキャスティングをするためにも、「このドラマなら挑戦したい」と思われる企画を生みだしていかなければなりません。エッジが効いた作品にこだわる一方で、視聴者が見たいと思うものをもっと拾い上げ、それを作品に反映させるノウハウを蓄積することも必要だと感じています。

また、ゴールデンタイムの連続ドラマが1枠のみであることも課題の一つです。今後は3枠まで増やせるようチャレンジしていきたいと思っています。そこでポイントとなるのが、視聴者層の幅を広げること。テレビ東京のドラマの視聴者は全体的に年齢層が高く、比較的男性が多くなっています。若者や30~40代の女性など、これまでカバーしていなかった視聴者にもアプローチしていかなければなりません。プロデューサー一人ひとりの能力アップを図りながら若手も積極的に起用し、制作体

制を強化していきたいと考えます。

今後のドラマ制作に対する意気込みをお聞かせください。

今年9月には「テレビ東京 六本木3丁目移転プロジェクト」と題し、大型企画となる3本のスペシャルドラマをお届けすることができました。2019年には開局55周年を迎えます。大型企画を再び実現できるよう、動きだしていきたいと思います。

近年は各局が動画配信サービスを活用するなど、さまざまな形でドラマを視聴できるようになりました。視聴の仕方が変化している今だからこそ、私たちは腰を据えて視聴してくれた皆さんに「**見て良かった**」と思っただけの作品を真剣につくり続けたい。その上で視聴率アップにこだわっていきます。そして『ドラマ24』や『金曜8時のドラマ』をテレビ東京の看板番組に育てていくことを目指します。



岡部 紳二

編成局次長 兼 ドラマ制作部長

1988年入社。人事部、ニュース報道部、編成部、情報バラエティー制作などを経て、2001年ドラマ制作部に異動。プロデューサーとして活躍しつつ、連続ドラマ枠『ドラマ24』や『金曜8時のドラマ』を立ち上げ、現在はドラマ制作部長を務める。

INTERVIEW





移転を機に、下期は反転攻勢へ！

2016年度上半期の平均視聴率は、ゴールデンタイム（GH）6.4% プライムタイム6.2% 全日2.8%と前年同時期を下回りました。中でも4月クールGHは熊本地震の影響やNHKの改編が響き、平均6.3%と落ち込みましたが、7月クールでは平均6.6%と前年同率に戻し、少しずつですが回復基調になっています。

秋からは六本木3丁目移転プロジェクトが3週連続スペシャルドラマを皮切りにスタート。年末にかけて大型特番を随所に

編成し、下期の起爆剤として期待しています。

10月改編では金曜18時55分枠に『どうぶつピース!!』を編成。実績のある特番のレギュラー化で視聴率の安定を目指します。金曜8時のドラマは『石川五右衛門』、市川海老蔵さん主演で話題性があります。下期は上期の取りこぼしを補うべく反転攻勢を狙っていきます。

これからのテレビ東京に、ご期待ください。

PICK
UP

毎週
金

20:00

テレビ東京 六本木3丁目移転プロジェクト 金曜8時のドラマ 石川五右衛門



2009年に市川海老蔵主演で好評を博した新作歌舞伎「石川五右衛門」に潤色を加え、映像化。市川海老蔵が連続ドラマに主演するのは“市川海老蔵”襲名後、初。歌舞伎「石川五右衛門」と同様、原作・脚本は、漫画「金田一少年の事件簿」、「神の雫」の原作者・樹林伸が手掛ける。大泥棒・石川五右衛門と天下人・豊臣秀吉との対立を軸に、秀吉の側室・茶々とのロマンスなどを織り交ぜた、人情あり、アクションありの痛快娯楽時代劇。

出演：市川海老蔵
國村隼、比嘉愛未 ほか

12/29
(木) 21:00

テレビ東京 六本木3丁目移転プロジェクト
ヒューマンドラマスペシャル
ダメ父ちゃん、ヒーローになる!
崖っぷち!人情広告マン奮闘記



直木賞作家・荻原浩×脚本・岡田恵和×テレ東初主演・沢村一樹で贈る珠玉のヒューマンドラマ! 人生を諦めた広告マンが、ある仕事をきっかけに“家族”や“人生”の再起をかけ奮闘する。

出演: 沢村一樹、広末涼子、杉本哲太、小堺一機 ほか

毎週
金 18:55

超かわいい映像連発!
どうぶつピース!!



猫と犬の赤ちゃんをメインに、子供から大人まで幅広い層がニコニコ楽しめる“偶然撮れたハブニング映像”を大放し! 「カワイイ」を引き出すさまざまな企画で魅せます。

MC: オードリー、大政絢

毎週
金 24:12

ドラマ24
勇者ヨシヒコと導かれし七人



大人気シリーズ! 待望の第3弾! 暗黒の神デスタークを倒した数百年後。天空の魔王が世界を再び闇に包んでいた。仏の力で蘇ったヨシヒコ一行は世界を救うため、運命の戦士を探す旅に出る。

出演: 山田孝之、木南晴夏、ムロツヨシ、岡本あずさ、佐藤二朗、宅麻伸 ほか

1/2
(火) 21:00

新春ドラマスペシャル
釣りバカ日誌 新入社員 浜崎伝助
伊勢志摩で大漁! 初めての出張編



2017年の新春ドラマスペシャルは『釣りバカ日誌』! 濱田岳&西田敏行が演じるハマちゃんスーさんコンビがお茶の間に帰ってくる! 出張先の伊勢・志摩で巻き起こす騒動とは!?

出演: 濱田岳、広瀬アリス、吹越満、比嘉愛未、西田敏行 ほか

ポケモン映画、シリーズ20作目へ弾み



シリーズ19作目となるポケモン映画『ボルケニオンと機巧のマギアナ』は動員数180万人、興行収入21億円超えを記録し、20作目に向けて弾みをつける作品となりました。

©Nintendo・Creatures・GAME FREAK・TV Tokyo・ShoPro・JR Kikaku
©Pokémon
©2016 ピカチュウプロジェクト

NARUTOーナルトーの舞台化、国内外で再演



岸本斉史の大ヒット漫画を舞台化したライブ・スペクタクル『NARUTOーナルトー』。昨年、日本をはじめ世界で賞賛を呼び、今年7月から大阪、東京、海外で再演しました。

©岸本斉史 スコット/集英社
©ライブ・スペクタクル「NARUTOーナルトー」製作委員会2016



民放キー局初の特別出展！

幕張メッセにて開催された『ニコニコ超会議2016』にテレビ東京グループとして出展しました。ニコニコ超会議への出展は民放キー局史上初の試み。グループ各社の多大な協力のもと、一体となって“テレ東らしさ120%”のブースを構築、イベントに訪れたお客様やネットユーザーに対して、テレビ東京の存在感を示すことができました。



ナナナ活動報告



ナナナ

テレビ東京のキャラクター、ナナナはバナナ社員として活動しています。今年で3回目となる7月7日のナナナの誕生日、ナナナが本社移転PR隊長に就任しました。番組出演やイベントなどで日々奮闘しています。



3回目となる、ナナナの誕生日を“神谷町”の7スタにて開催しました



由比が浜海水浴場内でnana BEACH PARKを開催！夏の思い出ができました



新本社4階受付には、ナナナの大きな垂れ幕を設置

BSジャパン **7**ch

さらなる強化と認知拡大へ

昨年始まった機械式BS視聴世帯数調査。「内容強化」「タイムテーブル認知」に注力し、16年も調査結果は引き続き堅調に推移しています。

現代のニーズに合わせた制作で大好評の「時代劇」、10月の新作は『人形佐七捕物帳』。初めて「レギュラーキャスト」を配し、要潤さん・矢田亜希子さんら豪華キャストで固めました。撮影も「4K」で挑んでいます。週3本放送する『スパイ大作

戦』は、おなじみのオープニングやテーマ曲など懐かしさ満載です。『日経プラス10』は、新本社のスタジオから、さらに見ごたえある内容で連夜生放送。

BSで“昭和”“歌”ジャンルが花盛りの中、『武田鉄矢の昭和は輝いていた』は他局にはマネできない「切り口」「深さ」で勝負します。

「進化を続けるBSジャパン」にご期待ください。

第1・第2
火 21:00

火曜スペシャル 人形佐七捕物帳



原作はミステリー界の巨匠・横溝正史。人形のように男振りの良い岡っ引き“人形佐七”が、ヤキモチ妬きの年上女房に支えられながら、さまざまな事件の謎を解き明かす。

出演:要潤 矢田亜希子 三浦涼介 池田純矢 小木茂光 ほか

月～金 22:00 日経プラス10

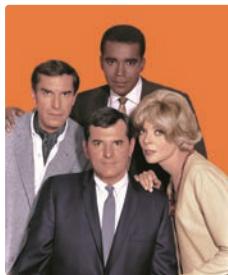


日経グループの全面協力で制作する経済報道番組。最前線で取材する日経の編集委員らがニュースを深掘りし、明日のマーケットを読む。英フィナンシャル・タイムズの名物記者による海外ニュース解説の新コーナーも。

キャスター:小谷真生子、山川龍雄(日経ビジネス編集委員)
水原恵理・森本智子(テレビ東京アナウンサー)

水金 17:58
18:54

スパイ大作戦



1960～70年代に人気を博した米テレビシリーズ。政府さえも手を下せない極秘任務に挑むスパイ組織「IMF」。難解なミッションを遂行するエキスパートたちの活躍を描く。

©2016 CBS Studios Inc. All Rights Reserved.

出演:スティーブ・ヒル、
バーバラ・ペイン、
ピーター・ルーパス、
マーティン・ランドロー、
グレッグ・モリス ほか

金 21:00 武田鉄矢の昭和は輝いていた



日本人が振り返りたくなる激動の時代「昭和」。昭和を象徴する「人」「モノ」「出来事」から毎回1つのテーマを選んで特集し、昭和の魅力を再発掘する。

出演:武田鉄矢、須黒清華(テレビ東京アナウンサー)

全セグメントが増収達成 期初予想を上回る利益を確保

売上高

699億
7千4百万円
(前年同期比 +6.4%)

営業利益

32億
1千1百万円
(前年同期比 -19.3%)

親会社株主に帰属する
四半期純利益

21億
2千2百万円
(前年同期比 -15.1%)

1株当たり中間配当金

15円

総資産

1,094億
6千4百万円

純資産
(自己資本比率)

755億
6千4百万円
(67.0%)

1株当たり配当金

グループの成長と企業価値の増大、長期的な経営基盤の充実に向けた内部留保とのバランスを考慮し、安定的な配当の継続を重視しつつ、業績に応じた利益還元に努めます。
1株当たりの配当金は年額20円を下限とした安定配当に加えて、業績に連動した配当として、連結ベースで配当性向30%を目標にしています。
(2017年3月期 期末配当予想)1株当たり25円(年間配当は1株当たり40円)

2017年3月期 業績予想

売上高 …………… 1,394億円
(前年同期比+2.3%)

営業利益 …………… 52億円
(前年同期比+28.5%)

地上波放送事業

■売上高	554億9百万円 (前年同期比+6.8%)
■営業利益	31億1千1百万円 (前年同期比+29.2%)



放送収入のうち番組を提供するタイム収入は、リオデジャネイロオリンピックによる売り上げ増のほか、期を通じてゴールデン帯タイムの大型特番や週末の営業企画が好調に推移したことにより増収となりました。番組の間に流れるスポット収入も、販促企画によるシェアアップなどにより増収となりました。

ソフトライツ収入は、「Amazon」と連動したドラマの配信権利が大きく貢献したほか、深夜ドラマを中心とした過去作品の配信事業も大きく伸びました。さらに、人気シリーズ『孤独のグルメ』の販売がアジア圏で多数成立しました。アニメ事業では、国内において『妖怪ウォッチ』の商品化が減少したものの、海外において『NARUTO』『BLEACH』などが好調でした。

【連結子会社】(株)テレビ東京

放送周辺事業

■売上高	174億6千7百万円 (前年同期比+3.7%)
■営業利益	13億2百万円 (前年同期比+6.6%)



音楽出版関連は『おそ松さん』をはじめとするアニメ楽曲の印税収入に加えて、井上苑子のほか原盤出資アーティストの関連売り上げも堅調でした。

CS放送関連では、アニメ専門チャンネル『AT-X』は加入者数の横ばいが続いたものの、自社プロデュースのアイドルユニット『A応P』（アニメ“勝手に”応援プロジェクト）の『おそ松さん』関連楽曲や投資作品が好調でした。

【連結子会社】(株)テレビ東京ミュージック／(株)テレビ東京メディアネット／(株)テレビ東京コマース／(株)テレビ東京アート／(株)テレビ東京システム／(株)テレビ東京制作／(株)テレビ東京ダイレクト／(株)テレビ東京ヒューマン／(株)テクノマックス／(株)テレビ東京ビジネスサービス／(株)イー・ティー・エックス／TV TOKYO AMERICA, INC.

BS放送事業

■売上高	78億2千万円 (前年同期比+3.7%)
■営業利益	6億8千3百万円 (前年同期比-2.4%)



放送収入は、4月からスタートした一社提供のレギュラー番組などがタイムセールスの底上げに貢献しました。また、特別番組では『柚希礼音が躍る 魅惑のアルゼンチンタンゴ』などが好調でした。また、スポットセールスも良好に推移し、その他収入を含めた上半期売り上げは新記録を更新しました。

一方、費用面では、『日経プラス10』などのレギュラー番組の充実を図ったことによる番組制作費の増加がありました。

【連結子会社】(株)BSジャパン

インターネット・モバイル事業

■売上高	22億円 (前年同期比+14.1%)
■営業利益	1億8千7百万円 (前年同期比+29.0%)



インターネット・モバイル事業では、「ネットもテレ東キャンペーン」など動画配信事業が順調に売り上げを伸ばしたほか、Web 通販サイト「虎ノ門市場」で始めたデジタルカタログによる販売が売り上げ拡大に貢献しました。また、「テレ東本舗.WEB」でのオリジナルグッズ販売やキャリアからのアプリサービス配分収入なども予定を上回る結果となりました。

【連結子会社】(株)テレビ東京コミュニケーションズ

会社情報

会社概要

会社名	株式会社テレビ東京ホールディングス (TV TOKYO Holdings Corporation)
本店所在地	東京都港区六本木3-2-1 六本木グランドタワー (2016年11月7日にて本店を移転しております)
URL	http://www.txhd.co.jp/
設立	2010年10月1日
資本金	100億円

役員

代表取締役社長	高橋 雄一
取締役副社長	小孫 茂 経営企画・ネットワーク・メディア戦略統括、4K事業担当
専務取締役	井澤 昌平 編成・制作統括
	田村 明彦 営業・ソフトライツビジネス・ビジネス開発統括、 メディア・アーカイブ、ネットワーク担当
	石川 一郎 株式会社BSジャパン 代表取締役社長
常務取締役	宮田 鈴子 法務統括
	廣瀬 和彦 経営企画、広報・IR、グループ戦略、メディア戦略担当
	村田 一郎 社屋整備、総務人事担当、業務改善統括
	神谷 雄治 経理統括
取締役	松下 弘幸 技術、情報システム担当
	喜多 恒雄 株式会社日本経済新聞社 代表取締役会長
	大橋 洋治 ANAホールディングス株式会社 相談役
	岩沙 弘道 三井不動産株式会社 代表取締役会長、会長執行役員
常勤監査役	石川 雅一
監査役	鎌田 真一 株式会社QUICK 取締役会長
	松尾 邦弘 弁護士
	加賀見 俊夫 株式会社オリエンタルランド 代表取締役会長(兼)CEO

- (注) 1. 取締役 喜多恒雄、取締役 大橋洋治、取締役 岩沙弘道は社外取締役です。
2. 監査役 鎌田真一、監査役 松尾邦弘、監査役 加賀見俊夫は社外監査役です。

グループ全体の最新情報はこちら

<http://www.txhd.co.jp/>

TXHD

検索

詳しくは
Webで

テレビ東京ホールディングスとグループ会社の最新情報をまとめて閲覧できます。また、テレビ東京ホールディングスの経営計画や財務情報、株式情報など、株主・投資家の皆様向けの情報をご覧いただけます。



株式情報 (2016年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	100,000,000 株
発行済株式総数	28,779,500 株
株主数	10,042 名
単元株式数	100 株

大株主

株主名	持株数(株)	所有比率(%)
株式会社日本経済新聞社	9,052,710	31.46
吉田嘉明	1,400,000	4.86
株式会社みずほ銀行	1,006,300	3.50
三井物産株式会社	1,002,050	3.48
日本生命保険相互会社	680,150	2.36
株式会社東京計画	660,000	2.29
株式会社三菱東京UFJ銀行	595,500	2.07
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友銀行退職給付信託口)	590,500	2.05
テレビ東京ホールディングス社員持株会	553,045	1.92
株式会社毎日放送	518,050	1.80
東レ株式会社	518,050	1.80

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催(議決権の基準日は毎年3月31日)
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社

お手続き

- 株式に関する各種お手続き(未受領の配当金を除く)につきましては、原則、口座を開設している証券会社等で承ります。
- 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行、みずほ銀行及びみずほ証券(取次のみ)の本支店で承ります。
- ご不明な点は、下記のみずほ信託銀行へお問い合わせください。

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 0120-288-324

IRメール配信サービス

Eメールアドレスをご登録いただいた方へ、テレビ東京ホールディングスのニュースリリース、IRニュースをEメールでお知らせいたします。

当社ホームページからご登録ください。 <http://www.txhd.co.jp/ir/mail/>

お問い合わせ先

株式会社テレビ東京ホールディングス 総務人事局総務部
〒106-8007 東京都港区六本木3-2-1 六本木グランドタワー ☎03-6635-1771(代表)



この印刷物は、FSC®認証紙を使用し、植物油100%の「植物インキ」を使い、「水なし印刷」で印刷しています。